

いつまで節電が必要なの？

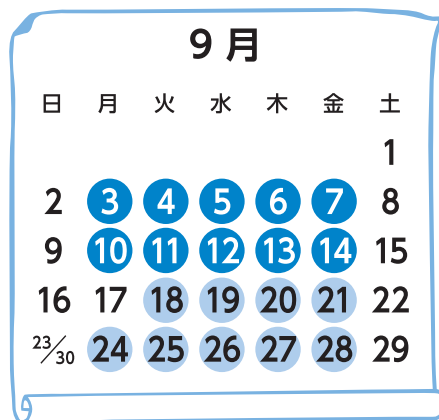
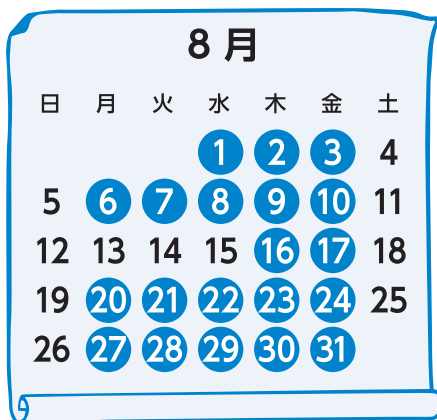
7%以上の節電が要請されている期間は、7月23日(月)から9月14日(金)までの平日(お盆期間の8月13日(月)～15日(水)を除く)です。※9月10日(月)から14日(金)までについては、17時～20時までの節電

なお、対象となる期間の前後の平日についても、「数値目標なしの節電期間」となりますので、この機会に日常的な節電習慣を身につけましょう！

節電カレンダー

● 7%以上の節電

● 数値目標なしの節電



電力はどんな使われ方をしているの？

日々の暮らしの中で節電を考えるためには、家庭での電力の用途を把握することが必要です。

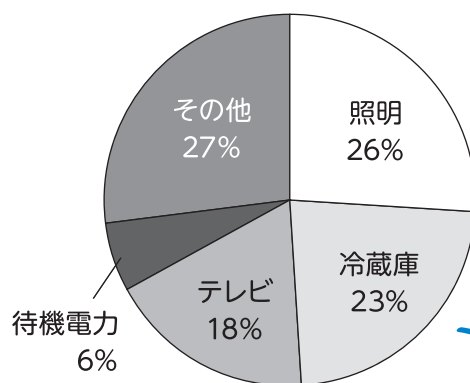
北海道の家庭における夏場の電力消費には、右のグラフのような特徴があります。

本州などの温暖な地域では、消費電力割合の75%近くをエアコン、次いで冷蔵庫が占めていますが、冷涼な北海道ではエアコンを使用している世帯は少なく、冷蔵庫にかかる負担も軽いため、電力消費量も多くはありません。その代わりに最も多く電力を消費しているのは照明器具です。他地域よりも日が短く、早い時間帯に明かりが必要になる北海道ならではの特徴と言えます。

道内の他地域と比べて夏が涼しい苫小牧でも、このような電力傾向が予想されます。そのため、消費電力の多い「照明」、「冷蔵庫」、「テレビ」などの家電製品について節電方法を考えることが、効率的な節電の近道となります。

道内家庭における消費電力割合
(夏場の20時時点)

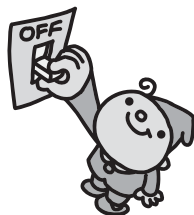
【資源エネルギー庁推計】



どんな取り組み方をしたらいいの？

節電には色々な取り組み方があります。

次のページからは、具体的な節電方法や、実際に日頃から節電に取り組んでいる方たちの声などを紹介していきます。



それでは、**節電生活**スタート!!

エコまるひとくちメモ



待機電力だけで全体の6%も使っているんだね。この機会に家の中を見渡して、普段使っていない家電製品や電気器具はコンセントからプラグを抜いたり、スイッチ付きのタップを使うのも、すぐできる節電だよ！充電器なども待機電力を消費するから気を付けて！